

長岡リジューベネーションの中間評価について

平成30年5月22日
長岡市地方創生推進会議

目次

I	長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略～について	3
II	各数値目標について	6
	戦略1 若者定着	9
	戦略2 子育て	12
	戦略3 教育	12
	戦略4 働く	14
	戦略5 交流	15
	戦略6 安全安心	16
	戦略7 連携	16

I 長岡リジューベネーション ～長岡若返り戦略～について

※リジューベネーション(rejuvenation)
: 若返り、元気回復

I

若者自身が
参加、企画、実現し
魅力を生み出す
まちに

地方創生にあたり
大切にしたこと

II

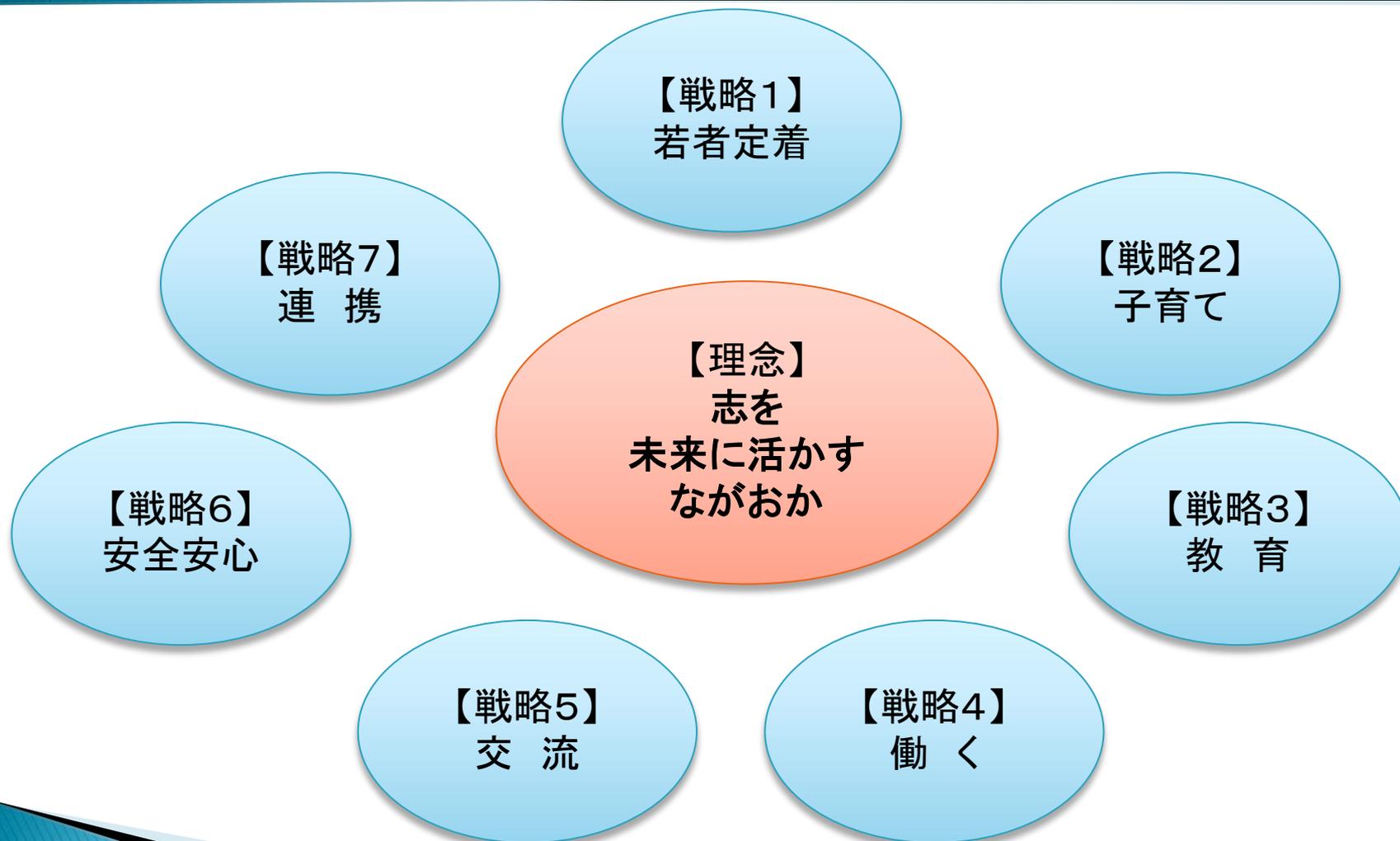
未来の長岡を担う
子どもたちを育てる
質の高い教育環境に

III

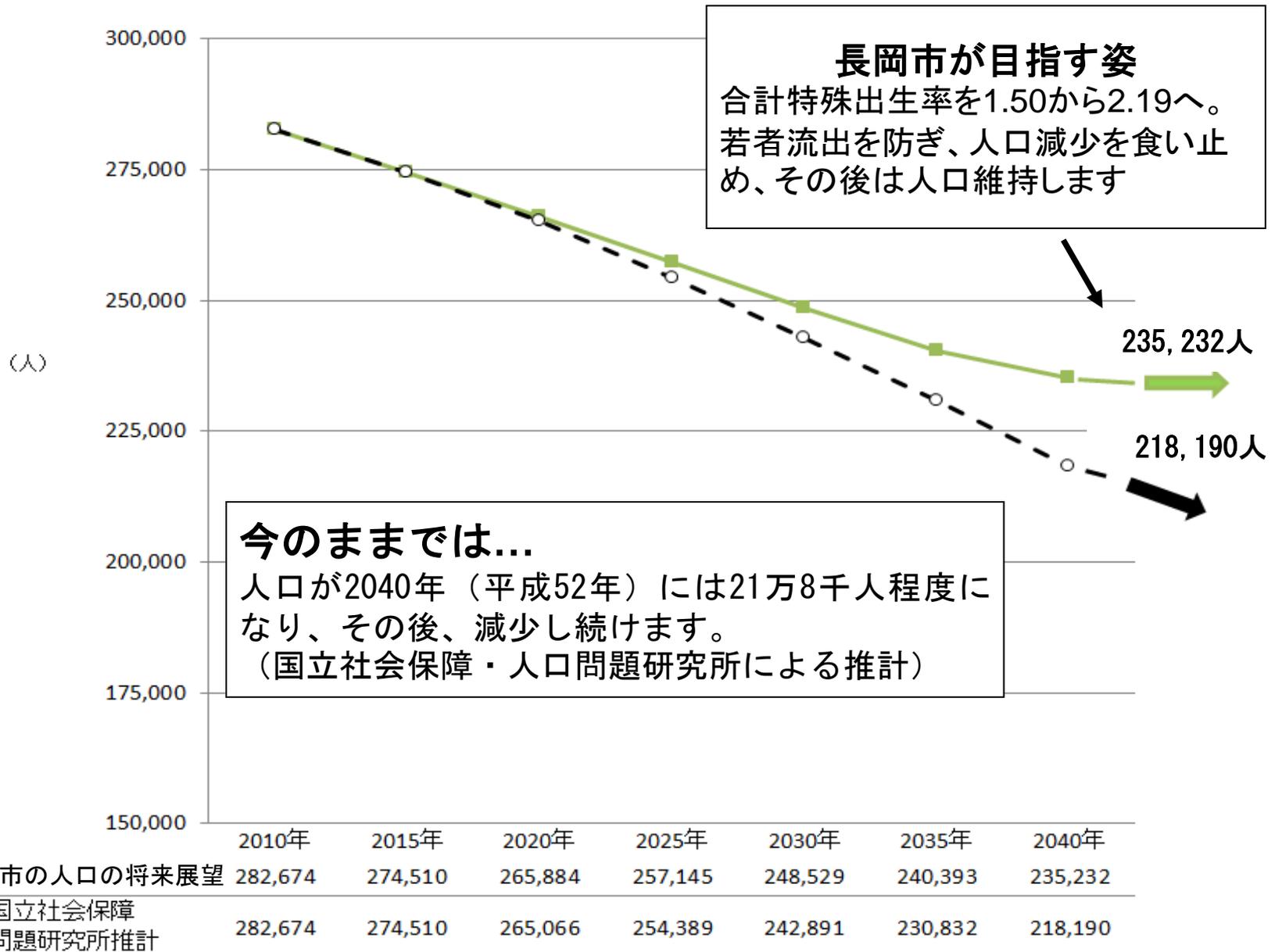
長岡で頑張っている
産業を応援。
新たな起業や
産業の誘致を促進し
「働く場」を確保

数値では計れない、若者の
ふるさとへの愛着と誇りを
もってもらうための、10年
20年先を見据えた施策を
行います。

I 長岡リジューベネーション ～長岡若返り戦略～について



人口の将来展望



Ⅱ 各数値目標について

	戦 略	目 標
<p>戦略1 若者定着</p>	<p>若者の地元定着やU・Iターンを促進するため、若者自らが魅力を生み出すまちづくりを進めます。</p>	<p>若者世代(10~39歳)の将来の転入超過を目指し、現在の転出超過の幅を可能な限り抑制します。</p> <p>若者会議の提案をより多く実現します。</p>
<p>戦略2 子育て</p>	<p>子育て環境を整備し、長岡で子どもを産み育てたいと思う人を増やすとともに、出生率を上げ、人口減少に歯止めをかけます。</p>	<p>2040年での合計特殊出生率2.19を目指し、合計特殊出生率を徐々に上げていきます。</p>
<p>戦略3 教育</p>	<p>米百俵の精神で、質の高い教育と教育環境の整備を進め、長岡に住み続けたい人、長岡に帰って来たい人、未来の長岡を背負って立つ人を育てます。</p>	<p>ふるさとへの愛着と誇りを持ち、様々な立場で長岡を支えることのできる柔軟でたくましい人材を育てます。</p>

Ⅱ 各数値目標について

	戦 略	目 標
戦略4 働 く	雇用の維持・拡大を図るため産官学金の総合力で産業活性化を推進します。特に、頑張っている地元企業・地場産業を重点的に支援します。	市内事業所数及び従業者数の減少傾向に歯止めをかけ、現状の従業者数を維持します。
		農林水産業の担い手の確保と経営基盤の強化をより一層進めます。
戦略5 交 流	長岡の歴史、文化、自然、特産品を、市民とともに磨き上げ、広く国内外に情報発信し、「長岡ファン」を増やすことで、ひと・モノ・情報の交流を拡大します。	交流人口を年々増加させるとともに長岡の認知度を高めます。

Ⅱ 各数値目標について

	戦 略	目 標
戦略6 安全安心	市民の誰もが安全・安心で、いつまでも健やかで元気に暮らし続けられる、地域主体の個性豊かなコミュニティづくりをすることで、住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを推進します。	健康寿命の延伸を図ります。 自主防災会の結成率92%を可能な限り100%に近づけます。
戦略7 交 流	近隣・関係市町村や大都市圏、さらには姉妹都市などの国際的な交流も視野に入れ、広域連携を進めて、交流人口を増やします。	近隣自治体及び姉妹都市等との連携事業を拡大します。

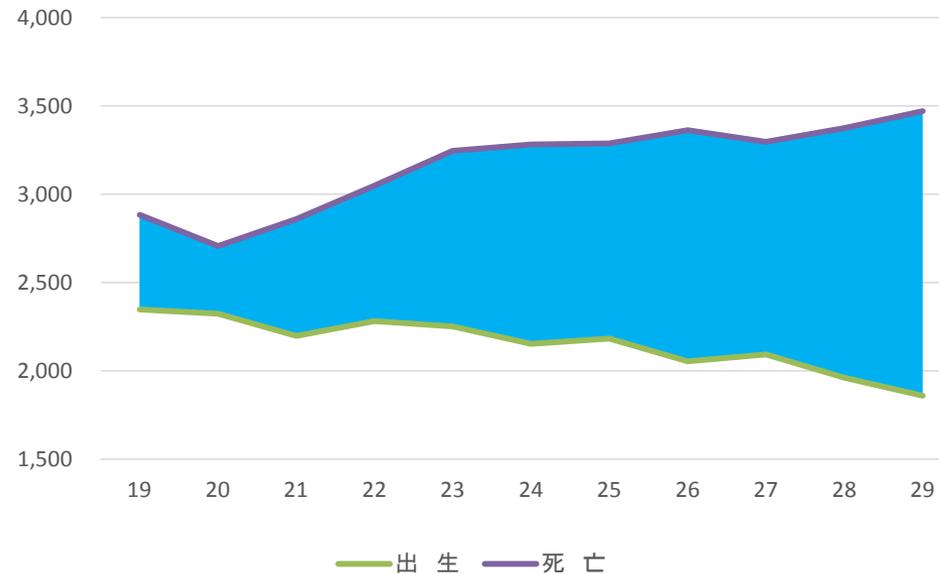
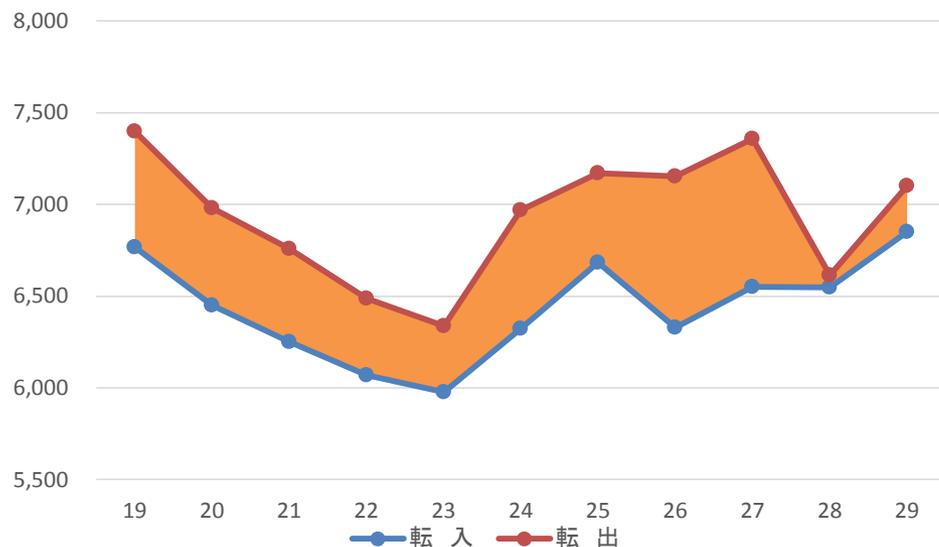
Ⅱ 戦略1 若者定着

目標	計画当初 (H27)	目標 (H31)	最新値	評価
若者世代(10~39歳)の将来の転入超過を目指し、現在の転出超過の幅を可能な限り抑制します。	転出超過 年500人 (H25)	転出超過 年300人	転出超過 年251人 (H29)	○ 現時点は 達成
若者会議の提案をより多く実現します。	—	5年間で 10件程度	21件 (H27~29)	○ 達成



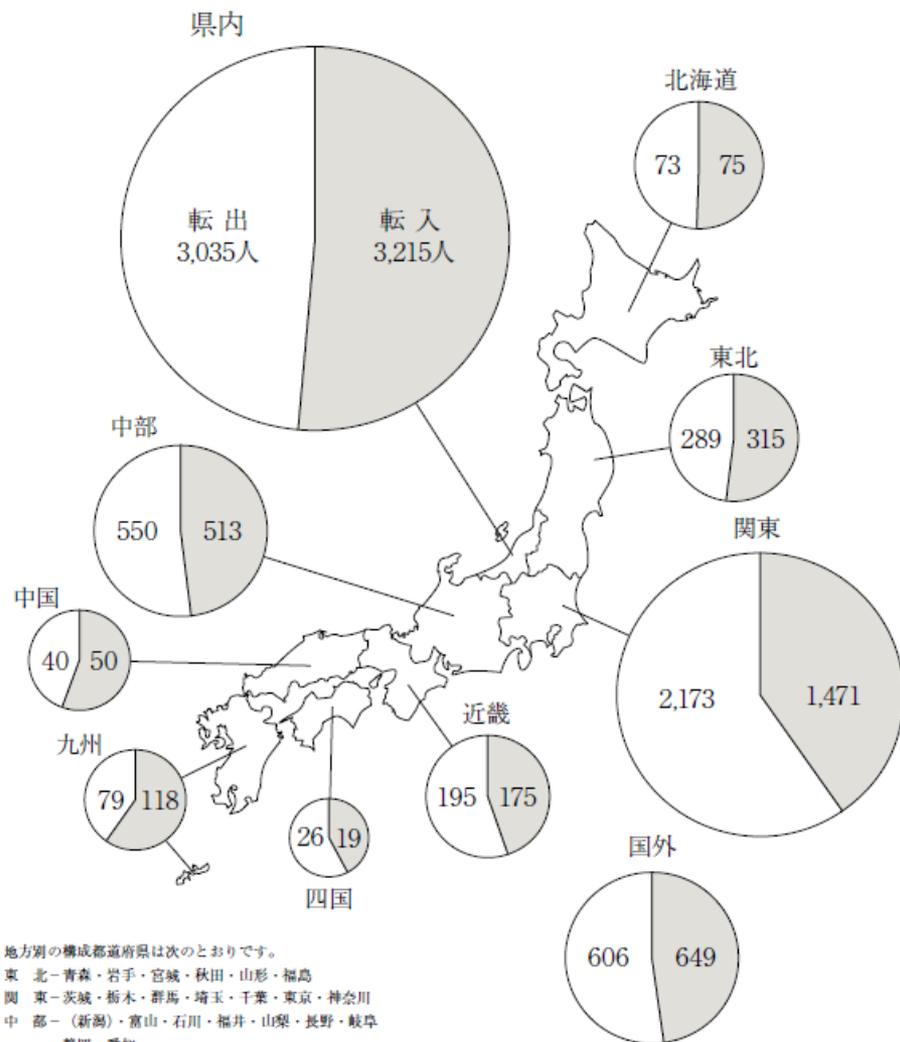
若者会議

Ⅱ 戦略1 若者定着



- 社会減が縮小傾向
- 「職業」を理由とした転出が減少
(県内の求人増加が要因か)
- 15～24歳の県外からの転入が増加
H24:95人 ⇒ H28:181人
(長岡造形大学の公立化が要因か)
- 自然減は拡大傾向
(出生数は減少、死亡数は増加傾向)

Ⅱ 戦略1 若者定着



地方別の構成都道府県は次のとおりです。

東 北-青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島

関 東-茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川

中 部-(新潟)・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜

静岡・愛知

近 畿-三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山

中 国-鳥取・島根・岡山・広島・山口

四 国-徳島・香川・愛媛・高知

九 州-福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

注：このグラフは転入・転出の割合を示しており、円の大きさの比率は一致しません。

参考：都道府県人口移動状況
(平成28年度)

- 県内では転入超過
(職業を理由とした転入)
- 転出先は関東地方が最多
(職業を理由とした転出)
- 若者世代(10~39歳)で、
移動総数の約7割を占める
- 若者定着に焦点をあてた対策
が必要であり、出生数の増加
策としても、有効

Ⅱ 戦略2 子育て 戦略3 教育

目標	計画当初 (H27)	目標 (H31)	最新値	評価
2040年での合計特殊出生率2.19を目指し、合計特殊出生率を徐々に上げていきます。	合計特殊出生率 1.50 (H25)	1.64	1.47 (H28)	× 下降
ふるさとへの愛着と誇りを持ち、様々な立場で長岡を支えることのできる柔軟でたくましい人材を育てます。				



子育ての駅とちお「すくすく」



小学生ロボコン大会

Ⅱ 戦略2 子育て 戦略3 教育

合計特殊 出生率	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H21比
全国	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.40	1.45	1.44	0.07p増
新潟県	1.37	1.43	1.41	1.43	1.44	1.43	1.44	1.43	0.06p増
長岡市	1.44	1.43	1.50	1.48	1.50	1.50	1.45	1.47	0.03p増

- 上昇傾向にあるものの、全国や県に比べ、市の向上率が低い。
- 全市域に拡大した子育ての駅や、保育環境の整備等といった子育て支援、「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」によるワークライフバランスの推進による仕事と家庭生活の両立支援など、総合的に取組を進める。

Ⅱ 戦略4 働く

目標	計画当初 (H27)	目標 (H31)	最新値	評価
市内事業所数及び従業者数の減少傾向に歯止めをかけ、現状の従業者数を維持します。	従業者数 約132,000人 (H24)	132,000人 を維持	133,478人 (H28)	○ 現時点は 達成
農林水産業の担い手の確保と経営基盤の強化をより一層進めます。	担い手農家の 農地利用 割合 57.2% (H27.3)	70%	60.78% (H29.3)	○ 上向き



長岡工業高等専門学校が企業を見学

Ⅱ 戦略5 交流

目標	計画当初 (H27)	目標 (H31)	最新値	評価
交流人口を年々増加させるとともに長岡の認知度を高めます。	観光入込客数 768万人 (H26)	800万人	713万人 (H29見込)	× 下降
	認知度 79.9% (H26)	90%	72.4% (H29)	× 下降

- 火焰型土器の東京オリパラの聖火台への採用活動や、日本農業遺産、日本遺産などを活用し、長岡の認知度向上を目指す。



信濃川火焰街道協議会



日本農業遺産「雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム」

Ⅱ 戦略6 安全安心 戦略7 連携

目標	計画当初 (H27)	目標 (H31)	最新値	評価
健康寿命の延伸を図ります。				
自主防災会の結成率92%を可能な限り100%に近づけます。	92% (H27. 4)	100%に 近づける	92.11% (H30. 4)	△ 横這い
近隣自治体及び姉妹都市等との連携事業を拡大します。				

タニタカフェで健康講座

